

安全で安心な 生活を求めて

～職員のアナケート調査より～

作業療法課

ADL班

●仲里 明恵
新垣 真希

新里 多美子 金城 愛
嘉数 進

はじめに

当院では外泊時や退院後に患者や家族が安全で安心な生活を送る為に家族指導を行っている。しかし在宅で転倒事故を起こすケースもあり、私たちは従来の家族指導に不安を抱いた。そこで他の職員はどう感じているのか疑問に思い、職員を対象に意識調査を実施。その結果より、問題点を探り、改善点を検討し新しい取り組み(院内外泊)を実施したので報告する。

院内外泊とは

家族指導スケジュール

時間	項目	担当
6:00～	起居・トイレの介助	CW
7:30～	整容・トイレ・更衣の介助	OT
12:00～	調理・栄養指導	栄養士
13:00～	整容・トイレの介助	Ns
16:00～	屋外歩行・車への移乗介助	PT
17:00～	服薬指導	薬剤師
20:00～	入浴・更衣の介助	CW
23:00～	トイレの介助	Ns

★家族が病院で一日生活

★家族に合わせた家族指導の内容を作成

★タイムリーに家族指導を実施・確認

対象と方法

アンケート 1

対象：3B・4A職員20名 (Ns6名・CW4名・PT6名・OT4名)

方法：外泊・退院する際の意識をアンケート調査

アンケート内容

- ①過去、患者・家族に対して外泊時・退院後の生活へ不安を感じた事があるか
- ②患者・家族への不安に対する具体的な取り組み内容

対象と方法

アンケート 2

対象：患者担当スタッフ8名 (Ns2名・CW2名・PT2名・OT2名)

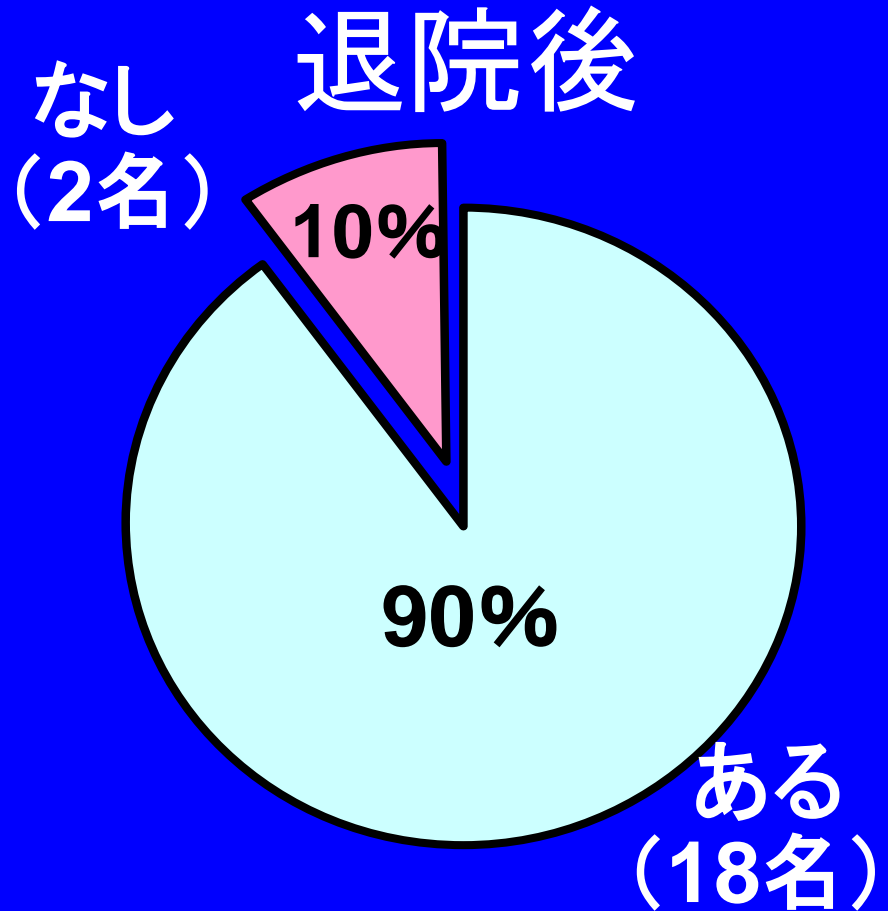
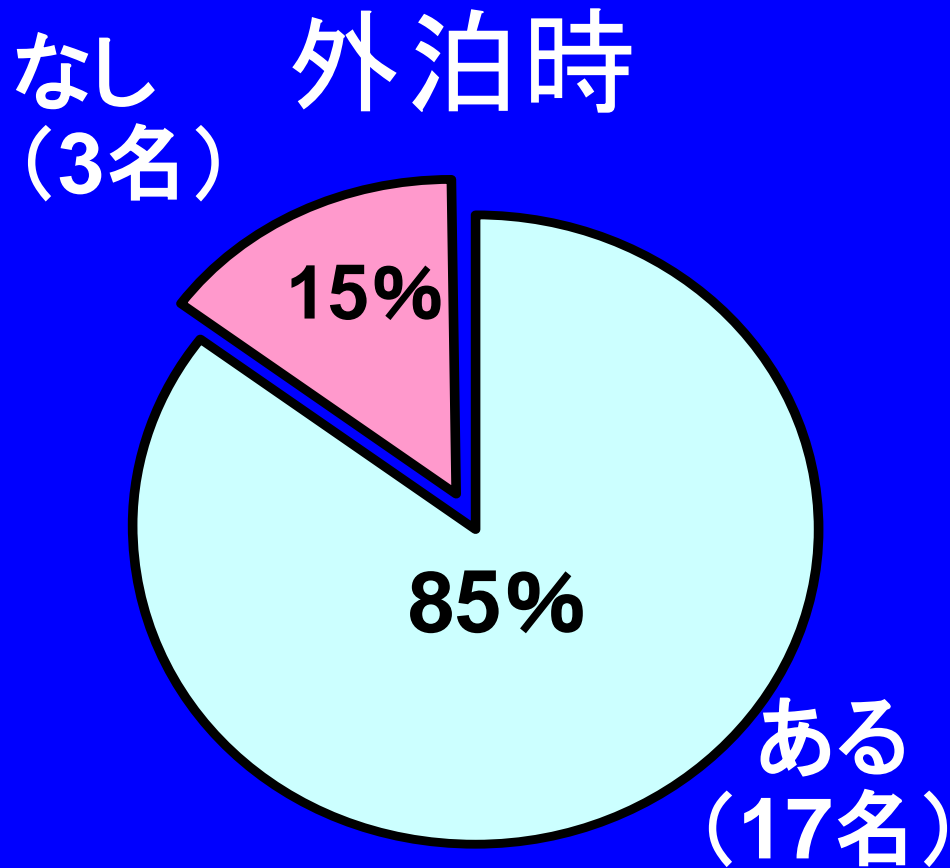
方法：院内外泊後の意識をアンケート調査

アンケート内容

- ①患者・家族に対して外泊・退院後の不安は軽減したか
- ②患者・家族がどのように在宅で生活するかイメージできたか

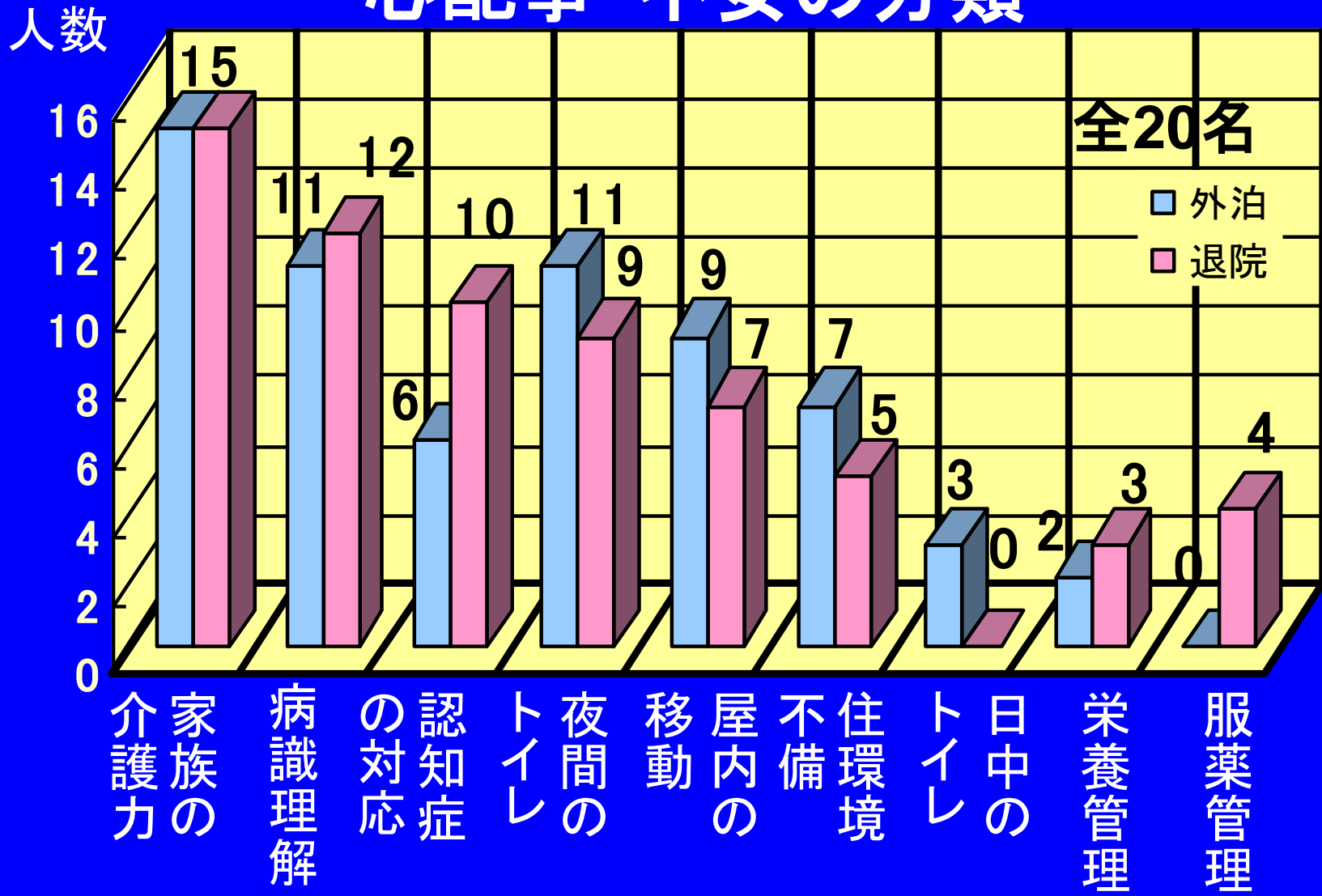
アンケート1結果

①過去、患者・家族に対して外泊時・退院後の生活へ不安を感じた事があるか



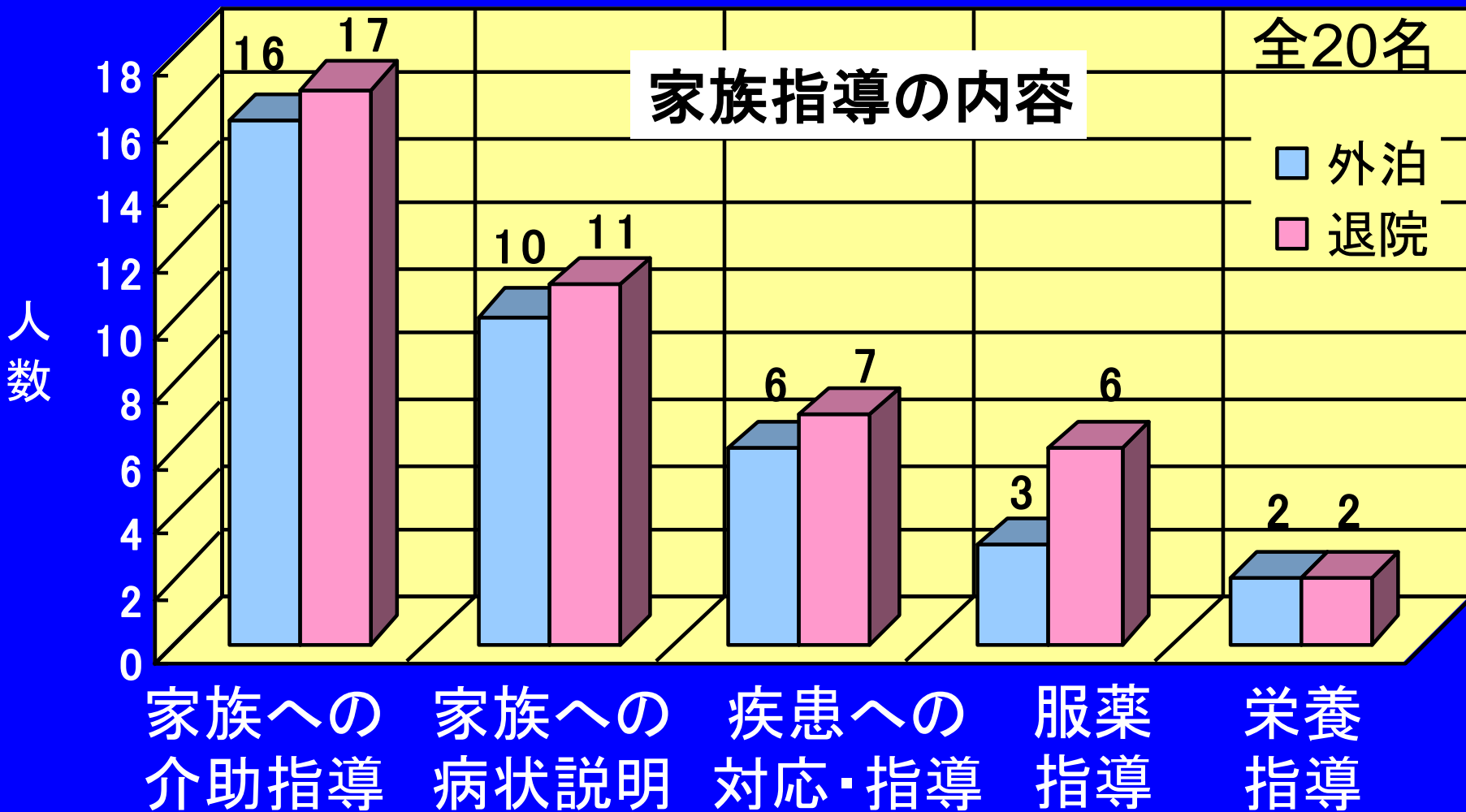
アンケート1結果

②外泊・退院後の患者・家族に対する 心配事・不安の分類



アンケート1結果

③患者・家族への不安に対する具体的な取り組み内容



現在の家族指導の問題点

現在の家族指導では

★職員が患者・家族に対し心配や不安を抱いたまま外泊・退院をしている

- 家族の介護力への不安
- 患者、家族の病識理解への不安
- 家族の認知症に対する対応への不安
- 家族の夜間トイレ介助への不安

考察

現在の家族指導では約9割の職員が不安を解消出来ないまま外泊・退院させていることがわかった。患者・家族の実際の介助方法を確認していない事も不安が残る要因だと考える。実際の生活場面でタイムリーに家族指導を実施し介助方法を確認する家族指導であれば不安は軽減するのではないかと考えた。



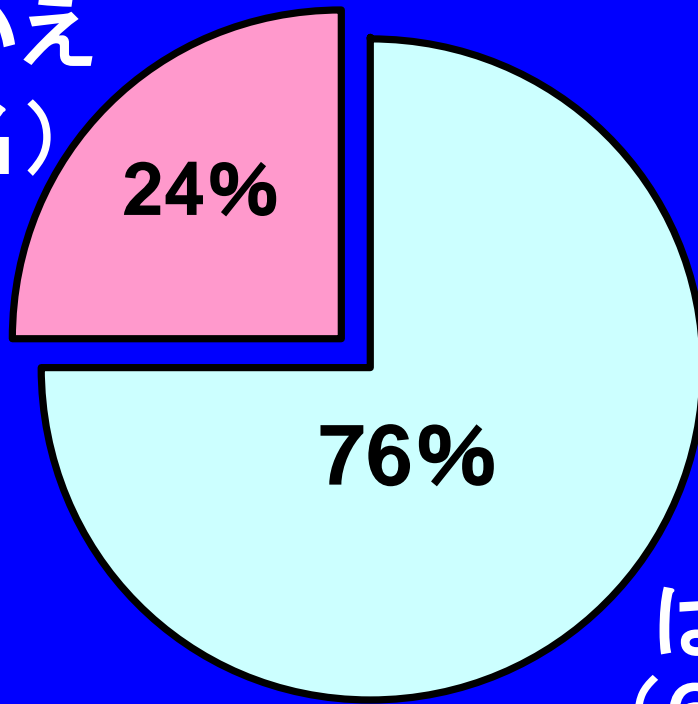
院内外泊(24時間)

アンケート2結果

患者担当スタッフへ院内外泊後の意識調査

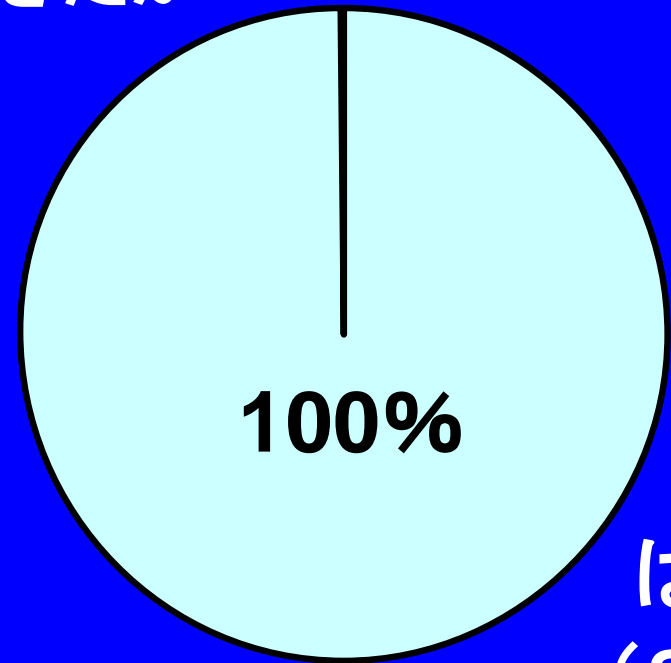
①患者・家族に対して外泊・退院後の不安は軽減したか

いいえ
(2名)



はい
(6名)

②患者・家族がどのように在宅で生活するかイメージできたか



はい
(8名)

まとめ

現在

外泊時・退院後の不安、心配

介助指導

退院

安全で安心な生活

退院

院内外泊
(24時間)

検討会

外泊